

令和3年度 夏期実習生（長期）受入れ予定一覧表

番号	グループ名	実習内容	受入可能期間	受入れ人数	備 考	留学生	大学 （大学院を含む）	大学 及び 高専
1	地質・地盤研究グループ 地質チーム	GISによる地形・地質情報の整理等	令和3年7月15日～9月15日 ※最低2週間から受入れ可	1		可 （但しソフトウェアの説明等日本語によるコミュニケーションが可能なこと）		1
2	水環境研究グループ 水質チーム	ダム貯水池や湖沼における機械学習手法を用いた水質予測技術の検討を行う。	令和3年7月1日～9月17日 ※最低2週間から受入れ可 ※8月16-20日については対応不可	1	主にPCを用いたデータ解析を予定しているためプログラミング言語（R、Python、Matlab等）を用いた研究経験を最低限有していることが望まれる。修士課程以上の学生が望ましい。座席やPCの関係で、実習時期次第では受け入れられない場合がある。	不可	1	
3		DNAに着目した下水汚泥や環境水中の微生物菌叢解析に関する研究を行う。詳細な実習内容については、実習期間に応じて、検討する。	令和3年7月1日～9月30日 ※最低2週間から受入れ可 ※8月16-20日については対応不可	1	座席やPCの関係で、実習時期次第では受け入れられない場合がある。	可		1
4		精密質量分析技術を用いた環境水中の有機化合物一斉スクリーニング分析に関する研究を行う。詳細な実習内容については、実習期間に応じて、検討する。		1		可	1	
5	橋梁構造研究グループ	・橋のコンクリート部材の耐荷実験補助、実験データ整理補助 ・撤去床版又は模型床版を用いた電磁波レーダ探査の実験補助、実験データ整理補助 ・鋼橋・鋼部材の耐荷実験補助、実験データ整理補助 ・ケーブルの計測結果整理補助 ・支承の試験に関するデータ整理補助、点検業務補助	令和3年8月2日～9月30日 ※最低1週間から受入れ可	3	・具体的な実習内容や実習計画については、実習生の希望、学習状況、業務の進捗状況等を踏まえたうえで決定。 ・受け入れ時期、期間の詳細はご相談下さい。 ・上記の特筆すべき活動については、受け入れの期間によっては、必ずしも見学できるとは限りません。	不可		3
6	材料資源研究グループ （先端材料・高度化）	各種土木材料（FRP、塗料、補修材料、アスファルト、セメント系材料など）の化学分析、物理試験などによる性能評価	令和3年7月1日～9月30日 ※最低1週間から受入れ可	2	化学系学科あるいは物質系学科（分析化学、物理化学、無機化学、有機化学、高分子化学、材料科学、物質工学、化学工学、環境化学、農芸化学など）の学生に限ります。大学院学生の方も応募可能です。担当者の都合により、作業内容により受け入れできない期間があります。	不可		2

※研究企画課夏期実習生担当（TEL：029-879-6751、mail：saiyou-kikaku@pwri.go.jp）